

「第19回都道府県対抗全国ダンススポーツ大会 in 山口」参加報告

1. 日時 2011年11月13(日) 8:45~17:00
2. 場所 キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター(山口県周南市)
3. 参加者 八木政明 & 光崎陽子(ワルツ)
仲嶺英世 & 仲嶺るみ子(タンゴ)
伊芸 淳 & 岸本 節(スローフォックストロット)
佐久川長徳 & 津嘉山加代子(クイックステップ)

4. 報告概要

今回の山口大会は、JDSF 沖縄支部会員の皆様並びに比嘉会長を中心とする連盟支部各役員の方々の御支援をいただきながら、参加選手の素晴らしいチームワークの下で十分にパフォーマンスを発揮できましたことを御報告いたします。会員の皆様、連盟役員の方々に心より御礼申し上げます。

大会が開催された山口県周南市は瀬戸内海に面する石油化学工場等が集積している工業地帯で、国内の石油化学工業製品の重要な生産拠点になっている地域です。競技会場の「キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター」は、小高い丘の見晴らしのいいエリアにある立派な総合運動施設で、会場には一般観戦者とチームの応援団が多数参加し、会場の雰囲気盛り上げていました。

団体戦は全国から28チーム(地元山口県は2チーム)が参加し、熱気に包まれた雰囲気の中で開会式が行われ、各県チームはプラカードを持って入場整列し、本大会本部実行委員長の金子 JDSF 常務理事から東日本大震災の被災地に対するお悔やみとそのような状況の中で参加した東北のチームに対する激励の挨拶がありました。続いて、地元開催県の山口県知事(教育長代理)と木村周南市長の温かい歓迎の挨拶があり、今年の「おいでませ!山口国体」が素晴らしい大会であったことと、今回、全国ダンススポーツ大会を開催できることへの感謝の気持ちが込められた素晴らしい挨拶でした。

引き続き、地元開催県の山口県チームによる選手宣誓の後、競技が開催されましたが、各県チームの本大会に臨む決意・意気込み等が会場を包み込み開会式のムードを盛り上げていました。

ところで、団体戦の結果については普段の練習の成果を十分に発揮できず当初目標の一次予選通過は達成できませんでしたが、各カップルが全力を尽くして戦った結果、出場28チーム中21位という成績でした。次回の岐阜大会は少しでも順位

を上げられるよう来年のチームに引き継いでいきたいと思っています。

初めて沖縄チームが都道府県対抗戦に参加した兵庫県神戸大会以来、秋田県、東京都、千葉県そして山口県と5回目の参加になります。来年の岐阜大会には、スタンダード部門だけでなく、ゼヒラテン部門も含めて参加できるように連盟でご検討いただくよう強くお願い申し上げます。

さて、団体戦の前に開催された個人戦では、A級スタンダードに佐久川&津嘉山組及び仲嶺組、B級スタンダードに伊芸&岸本組及び八木&光崎組が出場し、その中で八木&光崎組が出場組数69組の中で第3位入賞という快挙を成し遂げました。これまでの都道府県対抗全国大会の個人戦としては最高の成績です。そのような状況の中であって、チーム全体としては素晴らしいパフォーマンスが発揮できたものと思います。

会場では、競技の合間に連盟本部の記念撮影、開催県の山口県、お隣の鹿児島県との交流や兵庫県代表でA級スタンダード個人戦に出場した玉那覇(沖縄県出身)&小田組との記念撮影など各県選手との交流を深めることができ、とても有意義な一日でした。

朝早くから夕方まで長い一日でしたが、全員が充実感とハッピーな気分で会場を後にし、その後、近くの居酒屋でJDSFの岸尾さんを囲んでの懇親会はチームメンバー全員で盛り上がりました。感謝 感謝

~各参加者の感想~

八木政明 & 光崎陽子 組

第19回都道府県対抗全国DS大会 in 山口への参加は、私達にとって非常に有意義で目の保養となる大会でした。個人戦では必死で応援してくれた仲間たちの声を力に最後まで踊りきることができ、チームワークの有難さを感じました。さらに、団体戦を踊っている時には「沖縄がんばれ~!」という県外選手からの声援もあり、非常に気持ち良く踊ることができました。今回いつもとは違う音楽がまた、気持ちを高揚させてくれたせいか、個人戦B級第3位という思いも寄らない好成績を頂く事ができました。連盟役員をはじめ、会員の皆様方のおかげで、このような大きい大会を経験させて頂き、心から感謝申し上げます。そして、応援して下さいました皆様方、本当にありがとうございました。

仲嶺英世 & 仲嶺るみ子 組

今年の大会は、東日本大震災で被災を受けた岩手県、宮城県から多数参加があり、ダンススポーツを通して東北の震災復興に向けた各連盟の力強いエネルギーを感じました。被災地域の日も早い復興を心から祈念いたします。

都道府県対抗全国 DS 大会への参加は今回で 4 回目ですが、年を追う毎に団体戦は、各県の躍進ぶりが感じられ、スター選手に混じってジュニアの素晴らしい選手が最高のパフォーマンスを発揮し、とても印象的でした。

沖縄県も若年層会員の拡大強化、指導員の育成、競技選手の育成等ダンススポーツの振興のための環境整備の必要性を痛感し、沖縄県としての今後の取り組みに期待と決意を新たにしています。

今回、個人戦では八木 & 光崎組が B 級スタンダードで全国第 3 位入賞という素晴らしい成績を獲得できたことはチームメンバー全員が誇りに感じたのではないのでしょうか？今後もこのような全国大会への派遣の機会を通じて個人戦での活躍を期待したいものです。

今回、素晴らしいチームワークで大会に参加できましたことに対し、参加メンバー、会員の皆様、連盟支部の役員の方々に心より感謝申し上げます。

伊芸 淳 & 岸本 節 組

今回で 2 度目の県外派遣を経験させて頂き感謝しております。

昨年同様、今回もとても多くの事を学ぶ事が出来ました。

この経験がこれからのレベルアップに繋がるものと確信しています。

また、他府県の応援団の盛り上がりには負けず、私たち 4 組の互いに声を張り上げて応援し励まし合う、その姿にも心地よいものがありました。

とても素晴らしいチームワークで臨む事が出来たと感じています。

本当にありがとうございました。

佐久川長徳 & 津嘉山加代子 組

今年も都道府県対抗全国大会に参加できたことに喜びと感謝の気持ちで一杯です。県外の大会では、ダンスの技術的なことも含めていろいろな意味で気付かされることが大変多く、また、学ぶこともたくさんあります。

今回も共に参加するメンバーの伸び伸びとした素晴らしいパフォーマンスには心を打たれました。特に、個人戦の B 級スタンダードの決勝戦では、声がかかる程応援し拍手を送りその結果に涙が出る程喜び、メンバー全員が心一つに沖縄を誇りに思った瞬間だったのではないかと思います。

八木さんのトロフィー片手に喜びにあふれた表情は、まさしく沖縄の“シーサースマイル”うれシーサー！！です。来年も、沖縄の派遣メンバー全員がこのようなシーサースマイルで喜びを分かち合うことができることを夢見て、努力を重ねて精進していきたいと思えます。

JDSF 沖縄の会員の皆様、連盟役員の方々に心から感謝しています。ありがとうございました。



(会場のキリンビバレッジ周南総合スポーツセンター全景)



(団体戦前の結団式を終えて)



(団体戦競技その1 競技会場全景)



(団体戦競技状況その2 プラカードを持って応援)



(団体戦競技状況その3 競技会場本部席側)



(団体戦競技状況その4 競技会場本部席対面側)



(沖縄県選手控席にて)



(佐久川 & 津嘉山組)



(伊芸 & 岸本組)



(八木 & 光崎組)



(仲嶺組)



(沖縄出身の玉那覇&小田組(兵庫県代表)を囲んで)



(岩手県代表の泉山さんを囲んで)



(シーサースマイルの八木さん)



(B級スタンダード第 3 位入賞の八木 & 光崎組)



(A級スタンダード優勝の OLEKSII GUZYR & 太田吏圭子組とホテルのロビーにて)



(JDSF の岸尾さんを囲んで居酒屋での懇親会)